

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等ディサービス）

○事業所名	きりん教室		
○保護者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	76	(回答者数) 52
○従業者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年1月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・レクリエーションの充実。	・お子さまのやってみたいことを取り入れ、その日のミッションなどで実現している。	・次につながる意見や感想（改善点）を話し合っている。
2	・相談事等がある時は、すぐ対応している。	・職員間で情報共有して、話の行き違いやズレが生じないようにしている。	・お子さまの情報を深めるために検査を実施していく。結果を踏まえて、今後の指導内容に反映させていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流が少ない。	・送迎時しか会う機会がなく、少ない。 ・保護者会の開催を実現できていない。	・ペアレントトレーニングを始めとする保護者同士の交流の機会を設ける。 ・教室の活動（地域交流）にお子さまと、一緒に参加してもらえるように工夫していく。
2	・活動スペースの狭さ。	・平日はお子さまの来所時間が重なることが多く、一人ひとりの活動スペースが十分でないと感じる日がある。	・外部の施設などを活用して、身体を動かす機会を増やしていく。
3			

事業所名 きりん教室

公表日 令和8年4月1日

利用児童数 76人

回収数 52枚

有効回答数 52枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	88.5%	9.6%	0.0%	1.9%	・体を動かすスペースは十分で、冬でも汗をかかなくてよく動けますし、活動ごとにコーナー分けされていて中は意外と広く感じている。 ・子どもの成長に合わせて、もう少し広くなってほしいと思う。	・部屋の中の活動スペースは限られているので、施設を借りる等し、のびのび体を動かす機会をもてるようにする。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。※基準の人数又は基準以上の配置を行っております。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・お迎えの時に活動内容や子どもの様子を詳しく教えてくださるので、よく見て頂いていると感じている。 ・たくさん先生方がいらっしゃるので安心している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1参照）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、発達の状態に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	94.2%	3.8%	0.0%	1.9%	・しきりできちんと座ってするスペースと、動けるスペースを区切ってあるので、集中できると思う。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・手洗いが徹底されており、保護者としても安心である。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの様子等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	98.1%	0.0%	0.0%	1.9%	・座ってばかりでなく、思いっきり体を動かす活動もあって子どもも嬉しいようである。 ・苦手教科への向き合い方や覚え方をいつも丁寧に教えていただき、家でも実践でき、そのおかげで一年生の壁にたまずくことなくスタートできたと感じており、きりんの先生方に感謝している。 ・合っていると思う。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	94.2%	0.0%	0.0%	5.8%		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・先生方に相談しやすいので、困っていることもすぐに反映して下さっていると思う。	
	8 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	96.2%	0.0%	0.0%	3.8%	・支援計画は読みやすく分かりやすいと思う。	
	9 個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	90.4%	5.8%	0.0%	3.8%	・苦手なことも頑張って、取り組みやすい活動にして下さっていると思う。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	92.3%	5.8%	0.0%	1.9%	・毎月のカレンダー作りにおいて、工夫が凝らされていることがよく伝わってくる。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。（放課後児童クラブや児童館等に通っているお子さんは「はい」に○を付けてください）	59.6%	5.8%	13.5%	21.2%	・母が休みの日以外はいつも夕方は学童を利用中である。	・プライベートに配慮しながら、交流する機会を検討していく。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等（重要事項説明書等の説明）について丁寧な説明がありましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	13 「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	96.2%	3.8%	0.0%	0.0%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	80.8%	5.8%	0.0%	13.5%	・誘っていただいたにもかかわらず、予定が合わず出席できなかった次第である。	・引き続き研修会や情報共有を行っていく。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	98.1%	1.9%	0.0%	0.0%		
	16 定期的に、相談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	96.2%	1.9%	0.0%	1.9%	・いつも話を聞いてくださり助言も的確で感謝です。困った時や学校の様子も気軽に相談できて助かっている。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・小さな相談にも共感して寄り添い、アドバイスも頂けて、子どもの気持ちを最優先してくれるので心強く思っている。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	28.8%	17.3%	11.5%	42.3%	・未就学の時と比べ他の保護者の方と会う機会や話す機会は少ないですが、特に不満にも思うことなく、駐車場等で会っても皆さん必ず挨拶しあって今のままでよいと思っている。 ・みかん狩り等できょうだいで参加させて頂きましたが、保護者同士の交流というのがあまりないので、またあれば参加したいと思っている。	・地域交流や、教室のレクリエーションで、親子や家族で参加できる機会を設ける。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	92.3%	1.9%	0.0%	5.8%		
	20 こどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・すぐに対応してくれて、また連絡ノートがあるので助かっている。	
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等（きりんだよりやインスタグラム等）で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	96.2%	0.0%	1.9%	1.9%	・インスタグラムフォローさせて頂いている。	法人全体のInstagramがあり、各教室の活動を発信しています。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	90.4%	7.7%	0.0%	1.9%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	84.6%	5.8%	0.0%	9.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・予定は組まれていると思うのだが、子ども自身が参加しているかどうかは把握していない。 ・防災セミナーを受講させていただき、内容を細かく私に伝えてくれた。段ボールチェアは防災用品としてそのまま保管している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練した際には、内容等をフィードバックをしていく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	92.3%	5.8%	0.0%	1.9%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	92.3%	0.0%	0.0%	7.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・小さなけがでも、すぐに知らせていただけるので助かっている。 ・いつも丁寧に伝えていただけており、感謝している。 	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	98.1%	1.9%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・安心どころではなく、楽しみでウキウキがとまらない火曜日である。 	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	92.3%	7.7%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週本当に楽しみにしており、毎週楽しく通えているのは先生方のおかげであり、あまりの楽しさに帰りには次に行く日を尋ねてくる。 	
	29	事業所の支援に満足していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが学校や家庭だけでなく、心身を伸び伸びと発散できる場がもう一つあることは本当にありがたく、学校以外でもきりん教室で相談や悩みに応じてもらえており大満足である。 ・本人も家族も毎回の参加を楽しみにしている。 ・親の不安点を丁寧に聞いて下さり、フィードバックを受けている点も大きな安心につながっている。 	

事業所名 きりん教室 公表日 令和8年4月1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100.0%	0.0%	・活動スペースを分けている。・音が響いて集中できないことがある。・一つの部屋に集中してしまわないよう分散させて活動の提案や誘導を促している。	・防音のための仕切りなど、試行をしている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100.0%	0.0%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100.0%	0.0%	・その日に行なうミッションや活動の内容をホワイトボードに書いたり、手順書を準備するなど、視覚情報として提示している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.0%	0.0%		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100.0%	0.0%	・子どもの人数に対して、個別の部屋が少なく場所が狭い。	・円滑な指導が行えるよう、ルールづくり、仕組みづくりを行っている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100.0%	0.0%		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	0.0%		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	0.0%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	100.0%	0.0%		
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%		・普段の会話で共通理解できているが、できるだけ会議を開くようにしていく。
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.0%	0.0%		
	16	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0%	0.0%		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%	・工夫して多様な活動を提供している。活動が固定化してしまう児童もいる。	・興味、関心が持てるようなアプローチの仕方を考えていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%	0.0%		・職員間では打ち合わせはできているが、アルバイトさんとの打ち合わせの時間も確保していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	83.3%	16.7%	・職員の退勤時刻、出張等により、全員での振り返りは難しいが、連絡ノートや、送迎時に保護者から聞いた話、電話での話等のメモは伝言板として共有し、翌日に回覧をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%		
24	放課後等ディサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っているか。	100.0%	0.0%			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.0%	0.0%			
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	0.0%			
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100.0%	0.0%			

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100.0%	0.0%		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100.0%	0.0%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	83.3%	16.7%	・該当例なし。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100.0%	0.0%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	16.7%	83.3%	・機会を模索中。	・年間の教室スケジュールとして、交流の機会を定期的に確保していくようにする。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100.0%	0.0%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	83.3%	0.0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100.0%	0.0%		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%		
	37	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%		
	38	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%		
	39	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	33.3%	66.7%	・部分的に行っているが十分ではない。	・十分に行っているような仕組みづくり、時間の確保をしていく。
	41	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33.3%	66.7%		・プライバシーに配慮しながら、交流する機会を検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.0%	0.0%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0%	0.0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	83.3%	16.7%		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	100.0%	0.0%			